

評価結果報告書

地域密着型サービスの外部評価項目構成

	項目数
I. 理念に基づく運営	<u>11</u>
1. 理念の共有	2
2. 地域との支えあい	1
3. 理念を実践するための制度の理解と活用	3
4. 理念を実践するための体制	3
5. 人材の育成と支援	2
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	<u>2</u>
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	1
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	1
III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	<u>6</u>
1. 一人ひとりの把握	1
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	2
3. 多機能性を活かした柔軟な支援	1
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	2
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	<u>11</u>
1. その人らしい暮らしの支援	9
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	2
合計	<u>30</u>

事業所番号	3970101287
法人名	医療法人 高潮会
事業所名	グループホーム うしおえ
訪問調査日	平成20年9月4日
評価確定日	平成20年9月29日
評価機関名	社会福祉法人 高知県社会福祉協議会

○項目番号について
 外部評価は30項目です。
 「外部」の列にある項目番号は、外部評価の通し番号です。
 「自己」の列にある項目番号は、自己評価に該当する番号です。参考にしてください。
 番号に網掛けのある項目は、地域密着型サービスを実施する上で重要と思われる重点項目です。この項目は、概要表の「重点項目の取り組み状況」欄に実施状況を集約して記載しています。

○記入方法
 [取り組みの事実]
 ヒアリングや観察などを通して確認できた事実を客観的に記入しています。
 [取り組みを期待したい項目]
 確認された事実から、今後、さらに工夫や改善に向けた取り組みを期待したい項目に○をつけています。
 [取り組みを期待したい内容]
 「取り組みを期待したい項目」で○をつけた項目について、具体的な改善課題や取り組みが期待される内容を記入しています。

○用語の説明
 家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。
 家族 = 家族に限定しています。
 運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。
 職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。
 チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

1. 評価結果概要表

【評価実施概要】

事業所番号	3970101287		
法人名	医療法人 高潮会		
事業所名	グループホーム うしおえ		
所在地 (電話番号)	高知県高知市梅ノ辻7-2 (電話)088-833-1115		
評価機関名	社会福祉法人 高知県社会福祉協議会		
所在地	高知市朝倉戊375-1高知県立ふくし交流プラザ内		
訪問調査日	平成20年9月4日	評価確定日	平成20年9月29日

【情報提供票より】(平成20年8月1日事業所記入)

(1)組織概要

開設年月日	平成15年10月1日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18人
職員数	26人	常勤6人、非常勤20人、常勤換算	12.9人

(2)建物概要

建物形態	併設/単独	新築/改築
建物構造	鉄筋スレート造り	
	2階建ての	1階～2階部分

(3)利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	31,000～35,000円	その他の経費(月額)	18,000円	
敷金	有(円)	(無)		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(円)	有りの場合 償却の有無	有/無	
食材料費	朝食	263円	昼食	367円
	夕食	420円	おやつ	105円
	または1日当たり		1,155円	

(4)利用者の概要(8月1日現在)

利用者人数	18名	男性	1名	女性	17名	
要介護1	9名	要介護2	3名			
要介護3	5名	要介護4	1名			
要介護5	名	要支援2	名			
年齢	平均	86歳	最低	67歳	最高	98歳

(5)協力医療機関

協力医療機関名	潮江高橋病院、森澤歯科医院
---------	---------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

住宅地と商業地が混在する市の中心に位置するホームは、路面電車が通る大通りから至近距離にありながら、ホーム内は静かで、共用部分と個人の居室も清潔に保たれている。職員の表情は明るく、利用者に優しく接しており、利用者が穏やかに生活できる環境にある。職員数が多いことから、利用者は安心して自分のペースで暮らしている。利用者が幸せに暮らし続けていけるように、ホームは自立支援を目指し、自費性を大切にしており、そのためにも利用者及びホームが地域に認められ、いつでも連絡や協力が得られる絆づくりを心がけている。「ここに住んで良かった、ここに来て良かった。」と利用者や家族はもちろん、職員からも言われるようなホームにしたいと、事業者は考えている。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	前回評価での改善課題については、すぐに全職員で話し合い、運営推進会議にも報告して、「管理栄養士のチェック」や「看取りの対応についての検討」など、改善に取り組んでいる。
①	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	全職員に自己評価表を配り、提出された内容を管理者と各ユニットのリーダーで取りまとめ、職員会にかけ、内容を全員で共有するようにしている。
重点項目②	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)
	運営推進会議のメンバーである民生委員は普段からホームに来訪することが多く、そのたびに気になることなどを話し、それを議題として取り上げ、ホームで行う行事や地域の子供会との交流を計画するなど、運営推進会議を活かした取り組みを行っている。
重点項目③	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)
	家族会は組織していないが、契約変更、納涼会、夕涼み会などの用事や行事の時に、家族だけが集まり話し合える機会を作っている。意見や苦情が出た場合には、事務長、管理者などで組織する苦情対策委員会に諮り、意見や苦情の背景や発生要因を探り、対応方針を決定し、個別対応をした後、今後の取り組みに反映させるために全職員にも周知している。
重点項目④	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	法人として町内会に加入しており、鏡川一斉清掃、不燃物当番、消防訓練、夏祭りなどに職員や利用者が積極的に参加している。また、近所のコンビニや雑貨店に買い物に出かけることが多く、利用者にとっても地域での馴染みの店になっており、見守り、声かけ、連絡をしてもらえる関係が築かれている。

2. 評価結果（詳細）

（ 部分は重点項目です ）

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	<input checked="" type="checkbox"/> 地域密着型サービスとして、独自に作り上げられた理念がある。 2006年の法改正時に、地域密着型サービスとしての内容を追加した事業所独自の理念を作り上げている。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> 理念について職員間で話し合いの機会をもち、意識づけがされている。 出勤した時に声に出して読み、職員会で具体的なケースに合わせて理念をどのように反映させるかを話し合うなど、日頃から意識づけをしている。 <input checked="" type="checkbox"/> 日々のサービスの提供場面(言葉かけ、態度、記録等)において、理念が反映されている。 一人で食事ができる利用者には時間がかかっても自分で食べていただくことを心がけ、一人ひとりの利用者が散歩に行きたい時に行けるよう職員を配置するなど、「能力を発揮する」「自発性を大切にする」「自立支援を目指す」という理念を実践している。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	<input checked="" type="checkbox"/> 地域住民の一員として、町会、自治会等に参加している。 法人として町内会に参加しており、事業所も積極的に地域活動に参加している。 <input checked="" type="checkbox"/> リサイクル活動や行事など地域活動の情報を集め、それらに参加するなど、接点を持つ努力をしている。 民生委員などから情報を収集し、鏡川一斉清掃、不燃物当番、消防訓練、夏祭り、地域の子供会などに職員や利用者が参加し、地域との交流に努めている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○ 印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	<p>○評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>サービス評価を実施するにあたり、評価の意義とねらいについて運営者、管理者、職員で話し合い、全員で自己評価に取り組んでいる。</p> <p>全職員に自己評価表を配り、提出された内容を管理者と各ユニットのリーダーで取りまとめ、その後職員会にかけて、内容を全員で共有するようにしている。</p> <p><input type="checkbox"/>評価で見出された課題について改善計画を立て、その実施に取り組んでいる。</p> <p>前回評価での改善課題については、すぐに「結果報告会」にかけ、職員全員で話し合い、運営推進会議にも報告している。管理栄養士のチェックや看取りの対応についての検討など、改善に取り組んでいるが、進行管理を行うための具体的な改善目標や期間を定めた改善計画は作成していない。</p>	○	職員全員が改善課題について意識を持ち、課題の改善に確実に取り組んでいくためにも、進行管理のできる改善計画を作成することを期待したい。
5	8	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>会議では、事業所からの報告とともに参加メンバーから質問、意見、要望を受け、双方向的な会議となるよう配慮している。</p> <p>運営推進会議のメンバーである民生委員は普段からホームに来院することが多く、そのたびに気になることなどを話し、それを議題に取り上げるなど、双方向的な会になるよう工夫している。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>評価で明らかになった課題について会議で報告し、改善に向けて取り組んでいる。</p>		
6	9	<p>○市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>市町村職員の研修場所として事業所を活用してもらったり、また市町村担当窓口に対して、事業所の実情やケアサービスの取り組みを折に触れて伝えるなど交流を図っている。</p> <p>市の窓口にはホームの行事ごとに案内を出し、「ホーム便り」も送るなど、事業所の内容を伝えている。</p>		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○ 印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制					
7	14	<p>○家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>家族等の来訪時には声をかけ、利用者の状況や家族のことについて話し合っている。</p> <p>市内在住の家族は月1～2回、多い人で週1回は来訪し、県外の家族でも3～6カ月ごとに来訪している。来訪時には居間や事務所で近況について話し合っている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>利用者の事業所での暮らしぶりやエピソードなど、手紙や写真等で伝えている。</p> <p>事業所便りは年3回発行している。利用者や家族が個別に希望する写真は、来訪時等に注文を取り渡している。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>心身の状況について、何らかの変化や問題が起きた時に必ず報告している。</p> <p>基本的に電話ですぐ連絡しているが、内容によっては家族来訪時に話すこともある。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>金銭について使途の確認や金銭出納帳等を明示し、その都度あるいは定期的に報告している。</p> <p>自己管理をしている4人の利用者以外については、職員2人でチェックを行い、個人ごとに出納帳に記録し、領収書も貼付し、来訪時に確認を取っている。家族の都合で来訪期間が長くなる場合は、コピーを送り報告している。</p>		
8	15	<p>○運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>家族会や家族同士の集まりの場で意見を出せるような仕組みを作っている。</p> <p>家族会は組織していないが、契約変更時や納涼会、夕涼み会などの行事の時に、家族だけが集まり話し合える機会を作っている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>苦情への対応で終わりではなく、その苦情の発生要因を探り、課題を検討し、質の向上をめざす取り組みをしている。</p> <p>意見や苦情が出た場合、事務長、管理者などで組織する苦情対策委員会にかけ、意見や苦情の背景や発生要因を探り、対応方針を決定し、個別対応をした後、今後の取り組みに反映させるため全職員に周知している。</p>		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
9	18	<p>○職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>利用者にとって馴染みの職員が継続的に支える体制となっている。</p> <p>採用時の面接を重視しており、離職者はほとんどなく、馴染みの職員が継続的に支える体制になっている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>職員が代わる時は、引き継ぎの期間を十分に取り、スムーズに移行できるように配慮している。</p> <p>職員が代わることはほとんどなく、また職員数も多いので、代わった場合は残った職員がフォローしてスムーズに移行できるようにしている。管理者が代わるような場合は1カ月程度の引継期間をとるようにしている。</p>		
5. 人材の育成と支援					
10	19	<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>日常的に学ぶことを推進し、パート職員にもチームの一員として、研修・会議等参加の機会がある。</p> <p>ローテーションを組み、全ての職員が行政や協会主催の研修に参加できるようにしている。法人や事業所内での内部研修も実施している。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>全職員が共有できるよう、研修内容を報告する機会を作っている。</p> <p>研修受講者は職員会等で報告を行い、復命書を作成して、全職員が共有できるようにしている。</p>		
11	20	<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>県内、全国組織の同業者ネットワークに加入し、サービスや職員の質向上につなげている。</p> <p><input type="checkbox"/>管理者・職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、職員のサービスや質向上に努めている。</p> <p>外部研修時などを利用して意見交換等行っているが、直接職員が事業所へ行って実状を見学し、意見交換をするような取り組みは行っていない、</p>	○	<p>職員にとっては他の事業所を直接見ることにより、新しい気づきや日々のサービスの向上に繋がることもあるので、地域の同業者と交流する機会を持つことを期待したい。</p>

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○ 印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	<p>○馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>入居希望者の入居に際し、その者の心身の状況、生活歴、病歴等の把握に努めるとともに、本人、家族等の意向も確認している。</p> <p>契約時に本人や家族から話を聞き、不足する内容は後日電話で聴取するなどして把握に努めている。本人には見学をしてもらった上で意向を確認している。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>本人や家族に事業所の見学や体験をしてもらっている。</p> <p>必ず見学をもらい、一緒にお茶を飲むなどして雰囲気を体験してもらっている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>入居希望者には、複数の職員が面接を行っている。</p> <p>管理者と各ユニットのリーダーで面接している。</p>		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>日々の生活場面の中で、支援する側、される側という認識は持たず、お互いが協働しながら和やかな生活ができるような場面作りがある。</p> <p>食事の準備から後かたづけ、掃除、洗濯など、利用者と職員が協働して生活している。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>職員は利用者と共に暮らす者同士として、「哀しみ」、「不安」、「喜び」、「楽しみ」などの本人の思いを共感し、理解している。</p> <p>他の人の世話をしている時に、自分のことを見てくれないと思って怒る利用者や、自分も出来るのに自分にはさせてくれないと不機嫌になる利用者など、対応の仕方での利用者の思いが吹き出すことがあるので、出来るだけ本人の思いを共感し、気持ちに沿えるように努めている。</p>		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	<p>○思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>一人ひとりの思い・暮らし方の希望・意向の把握に努めている。</p> <p>明確に自分の意向を話す利用者は少ないが、入居時に家族や本人から確認するのはもちろん、日々の生活の中で、利用者の言動などから、どのように暮らしていきたいかを把握するように努めている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>意思疎通が困難な方には、ご家族や関係者から情報を得るようにしている。</p> <p>意思疎通が困難な場合でも、日々の生活の中で利用者の意向を把握するようにしている。家族来訪時にも話を聞き情報収集に努めているが、あまり希望などは出てこない。</p>		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○ 印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	<input checked="" type="checkbox"/> 本人やご家族等からの気づき、意見、要望等を反映した介護計画が作成されている。 家族来訪時やカンファレンスの前には、ケアマネージャーが直接または電話で家族の意見や要望を聞き、介護計画に反映している。 <input checked="" type="checkbox"/> アセスメントを含め職員全員で意見交換やモニタリング、カンファレンスを行っている。 職員会と同時開催で、出来るだけ全職員が参加して行っている。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	<input checked="" type="checkbox"/> 介護計画は、設定された期間ごとに見直しされている。 2～3カ月ごとに見直している。 <input checked="" type="checkbox"/> ワンパターンの期間設定ではなく、本人、家族の要望や状態に変化が生じた場合には、その都度見直し、計画内容に応じた個別の期間設定をしている。 病気、けが等があればリアルタイムで見直している。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援(事業所及び法人関連事業の多機能性の活用)					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	<input checked="" type="checkbox"/> 医療機関と連携して、医療処置を受けながら事業所で生活が継続ができるように努めている。 母体法人の病院がすぐ近くにあり、急な病気に対しても医療処置を受けながら事業所での生活が継続できる体制にある。 <input checked="" type="checkbox"/> 本人、家族の状況に応じて、通院や送迎、特別な外出、外泊などの支援を行っている。 突発的な通院等で家族が対応できない場合は、職員が支援している。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域支援との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	<input checked="" type="checkbox"/> いままでのかかりつけ医や本人・家族等が希望する医療機関・医師に受診できる支援ができています。 協力病院での受診が多いが、希望によりかかりつけ医等への受診もしている。 <input checked="" type="checkbox"/> 受診や通院は、本人やご家族の希望に応じて対応している。 基本的に家族が対応しているが、希望に応じて支援している。 <input checked="" type="checkbox"/> 受診結果に関する情報の共有ができています。 家族が同行した場合は直接聴取し、職員が同行した情報も含め、申し送りノートや受診ノートに記録して共有している。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
19	47	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>終末期の対応方針を定め、家族・医師・看護師を交えて話し合いを行っている。</p> <p>終末期の対応指針を定め、家族には入居時に説明し、医師、職員等で対応についての話し合いは行っている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>本人や家族の意向を踏まえ、医師、職員が連携をとり、安心して納得した最期が迎えられるように取り組んでいる。</p> <p>家族からの希望があれば、その意向を踏まえ、職員と協力医療機関の医師との連携のもと、取り組める体制ができています。</p>		
<p>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</p> <p>1. その人らしい暮らしの支援</p> <p>(1)一人ひとりの尊重</p>					
20	50	<p>○プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>人前であからさまに介護したり、誘導の声かけをして、本人を傷つけてしまわないように、目立たずさりげない言葉かけや対応に配慮している。</p> <p>利用者の隣で一緒に食事しながら、利用者の食の進み方を見て、適宜食事介助するなど、いかにも支援していると見えないように工夫している。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>他の家族や外来者に対して、職員が利用者のプライバシーに関する話を話さないことを徹底している。</p> <p>自己評価作成時、職員会、その他の機会を通じて徹底している。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>全ての職員が、個人情報保護法の理解に努め、徹底されている。</p> <p>採用時のオリエンテーション、採用3カ月以内及び毎年1回、事務長が個人情報保護法、倫理、人権、礼儀等について研修し徹底している。</p>		
21	52	<p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>一人ひとりが「その日」にどのように過ごしたいかを把握し、それに応じて柔軟に支援している。</p> <p>職員が多く、個別の対応が可能のため、一人ひとりがどのように過ごしたいかを把握し、団体を散歩等に出かけたりするのではなく、出来る限り個々に対応している。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>事業所の業務スケジュールに利用者の生活を合わせていない。</p> <p>散歩に出かける時も時間を決めて行くのではなく、それぞれの利用者が行きたい時に職員が付いて出かけるなど、利用者のリズムを優先している。</p>		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○ 印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	<input checked="" type="checkbox"/> 献立づくりから調理、片付けに至るまで、食事に関する一連の流れを職員が一方的に進めるのではなく、利用者の意志や気持ちを大切に進めている。 食事の下ごしらえ、配膳、盛りつけ、後片づけなど、利用者の得意なこと、出来ることを、利用者と一緒に進めている。 <input checked="" type="checkbox"/> 職員は食事の介助にとどまらず、利用者と職員が同じものを一緒に食べている。 職員全員が同じ食事を一緒に食べながら、家族同士のような会話をしている。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	<input checked="" type="checkbox"/> 利用者のこれまでの生活習慣や希望にあわせて入浴できるよう、職員勤務体制等について工夫をしている。 夜間入浴以外は利用者の希望に合わせて支援出来る体制を採っている。現在夜間入浴の希望者はいない。 <input checked="" type="checkbox"/> 入浴を拒む人に対しては、言葉かけや対応の工夫、チームプレー等によって一人ひとりにあわせた入浴支援を行っている。 家族から言ってもらっても頑として受け付けない利用者があるが、気長にタイミングや人を代え、また半身浴など入浴の仕方も変えて説得し、支援している。強行に拒否する場合には清拭するなど衛生面には配慮している。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	<input checked="" type="checkbox"/> 何がその人の役割、楽しみごとになり得るかを把握し、食事作りや庭木の剪定など利用者の経験や知恵を発揮する場面を作っている。 食事の盛りつけ、洗濯、掃除、折り紙づくり、野菜や草花の栽培など、利用者の経験や知恵を発揮できる場面づくりをしている。 <input checked="" type="checkbox"/> 一人ひとりの役割、楽しみごと等を作り出すため働きかけを行っている。 利用者によっては食事をするだけで、後は一日中何もすることがなく終わってしまう場合もあり、生活にメリハリをつけるためにも、大人の塗り絵や、家族に出すハガキの作成など、新たな楽しみごとを作り出すための働きかけをしている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
25	61	<p>○日常的な外出支援</p> <p>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>近くへの散歩だけではなく、その人の馴染みの店や場所へ出かけている。</p> <p>近くには商店も多く、コンビニや雑貨店によく買い物に行くので、利用者にとっても地域での馴染みの店になっている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>歩行困難なケースでも、車や車いす等を利用し、戸外へ出ることを積極的に行っている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>日常的に散歩、買い物あるいはドライブ等に出かけている。</p> <p>少し離れたところにある畑や、市内の桜の名所、大型スーパーへの買い物など、ドライブを兼ねてよく出かけている。</p>		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	<p>○鍵をかけないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>居室や日中玄関に鍵をかけていない。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>利用者一人ひとりの外出の習慣や傾向を把握して、対応している。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>近所の人にも理解を求め、見守り、声かけや連絡をしてもらえる関係を築いている。</p> <p>近所のコンビニや商店との馴染みの関係がホーム、利用者共に出来ており、見守り、声かけ、連絡をしてもらえる関係を築いている。</p>		
27	71	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	<p><input type="checkbox"/>事業所だけの訓練ではなく、地域住民の参加、協力を得ながら避難訓練等を定期的実施している。</p> <p>避難訓練等は消防の協力を得て年2回、法人内では2カ月に1回実施しているが、地域住民の参加は得られていない。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>避難路の確保(整理整頓)や消火器等の設備点検を定期的に行うとともに、非常用食料・備品を準備している。</p> <p>避難路の整理整頓、消火設備の定期点検は行っており、非常用食料、水、備品についても近くの同一法人の物と合同で2カ所に分散して保管している。</p>	○	<p>夜間の災害時には、職員だけでは利用者を避難させるのは困難であり、万一来に備え、近隣住民(隣接するマンション)への呼びかけや避難訓練への参加協力等検討されたい。</p>

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○ 印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	<input checked="" type="checkbox"/> 一人ひとりの一日の栄養摂取総量や水分量を把握している。 一人ひとりの栄養摂取、水分摂取については職員が確認し、不足する場合は個人記録等に記録し対応している。日々の体重チェックも行っている。 <input checked="" type="checkbox"/> 一人ひとりの嗜好を把握し、献立に採り入れながら、栄養バランスにも配慮している。 利用者の意見を聞き、4日分ごとに職員が献立を作り、法人の管理栄養士に見てもらっている。 <input checked="" type="checkbox"/> 定期的に、栄養士や保健師等に専門的な観点からチェックしてもらっている。 法人の管理栄養士がチェックしている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	<input checked="" type="checkbox"/> 利用者にとって使いやすい配置や馴染みの物を採り入れた共用空間になっている。 食事の時の顔ぶれを代えるためにテーブルの配置を換えたり、歩行訓練をしやすくするためにスペースを確保したり、30センチほどの高さの畳スペースを作るなど、利用者本位の共用空間づくりに配慮している。 <input checked="" type="checkbox"/> 天井や壁面に掛けられた折り紙等の飾り付けが、家庭的な雰囲気を壊していない。 壁面が幼稚園化しないよう、絵画を中心にすっきりしたインテリアを心がけ、利用者の作品は季節に合わせた共同作品を一点だけ飾るなど、運営者の意向と職員の工夫が感じられる。 <input checked="" type="checkbox"/> 季節感のある装飾等に工夫するなど、季節感や五感の刺激にも配慮している。 室内に季節の花を活け、ベランダには鉢植えの花を植え、利用者全員でユニットごとに中秋の名月を題材とした合同作品を飾るなど、季節感や五感の刺激に配慮している。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	<input checked="" type="checkbox"/> 使い慣れた馴染みの物を傍に置くなど、本人や家族と相談しながら個別に工夫している。 ベッドは備え付けの物を使用しているが、整理ダンス、テレビ、冷蔵庫、仏壇、家族の写真、生年月日を記したカードなど、それぞれ工夫して配置している。 <input checked="" type="checkbox"/> 家族の協力が得られない等の場合でも、本人の意向を確認しながら、その人らしく居心地のよい居室づくりに取り組んでいる。 すぐに家族の協力が得られない場合でも、職員から家族に話をし、利用者が希望する物を入れてもらっている。		